



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 武蔵野興業株式会社

コード番号 9635 URL <http://www.musashino-k.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 河野 義勝

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 山崎 雄司

TEL 03-3352-1439

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	1,008	△23.4	23	△71.5	33	△65.2	46	△40.0
28年3月期第3四半期	1,316	7.5	83	△12.6	95	△2.9	77	△15.2

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 46百万円 (△39.3%) 28年3月期第3四半期 76百万円 (△16.7%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
29年3月期第3四半期	4.43	—	—	—
28年3月期第3四半期	7.38	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円	銭	
29年3月期第3四半期	6,157	—	3,496	—	56.8	334.09	—	
28年3月期	5,912	—	3,450	—	58.4	329.63	—	

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 3,496百万円 28年3月期 3,450百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	—	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	—	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	1,410	△15.5	50	△57.6	60	△56.8	60	△43.9	5.73	—

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	10,500,000 株	28年3月期	10,500,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期3Q	32,914 株	28年3月期	32,381 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	10,467,139 株	28年3月期3Q	10,468,007 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法による四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、製造業など一部の産業で景況回復の兆しは見受けられるものの、内需関連産業は引き続き停滞しており、併せて今後は米次期政権の誕生に係る市況の混乱も予想され、景況の先行きは不透明感を増しているものと思われまます。

このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、映画事業部門は、11月より「新宿武蔵野館」がリニューアルオープンし、個性的な話題作を多数ラインナップしたものの、連結子会社における映画配給関連の営業費用が増加し、セグメント損失を計上することとなりました。不動産事業部門は、不動産管理収入の減少はあったものの、テナントビルの状況に大きな変化はなく営業成績は比較的堅調に推移いたしました。自動車教習事業部門は、学生を中心とした自動車運転免許の取得需要が一段落したこともあり、営業利益は減少いたしました。その結果、全体として売上高は10億8百万円（前年同期比23.4%減）、営業利益は2千3百万円（前年同期比71.5%減）、経常利益は3千3百万円（前年同期比65.2%減）となりました。また、特別利益として新宿武蔵野館休館等に係る受取補償金を、特別損失としてフィリピンにおける現地相手先との合弁会社「ロセス・ムサンノ・ホールディングス」に対する関係会社株式評価損を計上した結果、親会社株式に帰属する四半期純利益は4千6百万円（前年同期比40.0%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント情報ごとの業績の状況は以下の通りであります。

（「生産、受注及び販売の状況」については、当社は映画興行や不動産賃貸業を中心に業態を形成しており、受注・販売形式の営業活動は行っておりません。販売の状況については、下記に示したセグメント情報ごとの業績の状況をご参照ください。）

（映画事業部門）

平成28年11月5日よりリニューアルオープンした「新宿武蔵野館」では、連結子会社による自社買付配給作品『小さな園の大きな奇跡』をはじめ、『エブリバディ・ウォンツ・サム!!』『アズミ・ハルコは行方不明』等を、また「シネマカリテ」では『PK』『弁護人』『幸せなひとりぼっち』等、個性的な作品を多数上映し好評を博しましたが、一方で、連結子会社における映画配給関連の営業費用が増加いたしました。また、入居テナントビルの耐震工事に係る「新宿武蔵野館」休館の影響もあり、その結果、部門全体の売上高は2億7千9百万円（前年同期比40.5%減）、セグメント損失は3千9百万円（前年同期は2千2百万円のセグメント損失）となりました。

（不動産事業部門）

賃貸部門におきましては、管理ビルの耐震工事に起因する不動産管理業務に係る収入の減少はあったものの、主要テナントビルの稼働状況は引き続き安定しており、営業成績は堅調に推移いたしました。販売部門につきましては、当第3四半期連結累計期間におきましても具体的な営業成績の計上には至っておりません。その結果、部門全体の売上高は3億8千8百万円（前年同期比10.1%減）、セグメント利益は2億3千2百万円（前年同期比21.0%減）となりました。

（自動車教習事業部門）

高校生・大学生の卒業シーズンに備えるべく、各種教習料割引キャンペーンを積極的に行い、新規教習生の獲得に向けてPR活動を強化しておりますが、入所時期のずれ込みもあり、その結果、部門全体の売上高は2億4千1百万円（前年同期比8.1%減）、セグメント利益は2千3百万円（前年同期比41.7%減）となりました。

（商事事業部門）

住宅資材の販売におきましては、パートナー企業より今後の取引の方針について打診を受け、当社においても検討を重ねた結果、平成28年10月末日をもちまして営業を終了することいたしました。また、東京都目黒区において経営委託している飲食店は、業態変更による需要が一段落した影響もあり、営業成績は前年同期を下回りました。その結果、部門全体の売上高は9千1百万円（前年同期比30.3%減）、セグメント利益は4百万円（前年同期比24.9%減）となりました。

（その他）

主としてマクミラン・アリスの著作権料収入や自販機手数料等でありますが、全体として売上高は6百万円（前年同期比66.3%減）、セグメント利益は5百万円（前年同期比50.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、「新宿武蔵野館」の改装に係る有形固定資産の増加を主な理由とした固定資産の増加により、前連結会計年度末に比べ、2億4千5百万円増の61億5千7百万円となりました。

負債合計は、金融機関からの借入による「新宿武蔵野館」改装に係る資金調達を行ったことなどから、前連結会計年度末に比べ1億9千8百万円増の26億6千万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、前連結会計年度末に比べ4千6百万円増の34億9千6百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日(平成29年2月10日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて、通期連結業績予想数値の修正を行っております。当第3四半期連結累計期間において、映画事業部門、自動車教習事業部門、商事事業部門の各部門の業績が当初の予想を下回る見込みとなったことに加え、特別利益として受取補償金を、特別損失として関係会社株式評価損をそれぞれ計上した結果、連結業績予想数値の修正を行っております。詳しくは、本日公表の同資料をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ3,574千円増加しております。

(4) 追加情報

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	680,833	565,234
受取手形及び売掛金	44,075	47,296
たな卸資産	10,957	3,491
繰延税金資産	21,971	21,971
その他	23,004	80,089
貸倒引当金	△597	△757
流動資産合計	780,244	717,325
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	445,496	725,059
機械装置及び運搬具(純額)	31,150	41,768
工具、器具及び備品(純額)	29,718	31,349
土地	3,904,167	3,904,167
リース資産(純額)	36,144	102,474
建設仮勘定	3,456	6,480
有形固定資産合計	4,450,133	4,811,299
無形固定資産		
借地権	67,260	67,260
その他	11,538	9,909
無形固定資産合計	78,798	77,169
投資その他の資産		
投資有価証券	464,565	415,097
敷金及び保証金	89,146	89,146
その他	53,843	52,051
貸倒引当金	△4,607	△4,607
投資その他の資産合計	602,947	551,688
固定資産合計	5,131,878	5,440,156
資産合計	5,912,123	6,157,482

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	65,960	73,448
短期借入金	116,480	133,548
リース債務	12,322	26,444
未払法人税等	26,158	49,877
賞与引当金	12,467	12,849
その他	191,567	189,933
流動負債合計	424,956	486,102
固定負債		
長期借入金	168,620	256,810
リース債務	23,822	76,029
役員退職慰労引当金	8,906	8,906
退職給付に係る負債	121,260	127,572
長期預り敷金	623,454	614,246
再評価に係る繰延税金負債	1,082,196	1,082,196
その他	8,463	8,681
固定負債合計	2,036,723	2,174,442
負債合計	2,461,679	2,660,545
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,004,500	1,004,500
利益剰余金	△83	46,272
自己株式	△7,760	△7,878
株主資本合計	996,655	1,042,893
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,703	1,959
土地再評価差額金	2,452,083	2,452,083
その他の包括利益累計額合計	2,453,787	2,454,043
純資産合計	3,450,443	3,496,937
負債純資産合計	5,912,123	6,157,482

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	1,316,389	1,008,328
売上原価	698,491	498,901
売上総利益	617,898	509,427
販売費及び一般管理費	533,958	485,482
営業利益	83,939	23,944
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,391	1,757
持分法による投資利益	16,391	20,286
その他	2,462	527
営業外収益合計	20,245	22,572
営業外費用		
支払利息	5,852	2,806
遊休資産維持管理費用	—	10,013
その他	3,139	550
営業外費用合計	8,992	13,369
経常利益	95,192	33,147
特別利益		
受取補償金	—	143,545
特別利益合計	—	143,545
特別損失		
関係会社株式評価損	—	70,000
特別損失合計	—	70,000
税金等調整前四半期純利益	95,192	106,692
法人税、住民税及び事業税	17,943	60,335
法人税等合計	17,943	60,335
四半期純利益	77,249	46,356
親会社株主に帰属する四半期純利益	77,249	46,356

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	77,249	46,356
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△394	255
その他の包括利益合計	△394	255
四半期包括利益	76,854	46,612
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	76,854	46,612

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他	合計
	映画事業	不動産事業	自動車教習事業	商事事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	468,914	432,343	263,035	131,906	1,296,200	20,189	1,316,389
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	52,812	—	—	52,812	—	52,812
計	468,914	485,155	263,035	131,906	1,349,012	20,189	1,369,202
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△22,850	293,947	40,646	6,060	317,804	10,658	328,463

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、著作権事業その他であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	317,804
「その他」の区分の利益	10,658
セグメント間取引消去	709
全社費用(注)	△245,232
四半期連結損益計算書の営業利益	83,939

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他	合計
	映画事業	不動産事業	自動車教習事業	商事事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	279,165	388,755	241,705	91,903	1,001,529	6,799	1,008,328
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	52,812	—	—	52,812	—	52,812
計	279,165	441,567	241,705	91,903	1,054,341	6,799	1,061,140
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△39,304	232,139	23,711	4,553	221,099	5,292	226,392

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、版權事業その他であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	221,099
「その他」の区分の利益	5,292
セグメント間取引消去	△198
全社費用(注)	△202,248
四半期連結損益計算書の営業利益	23,944

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの資産に関する情報
該当事項はありません。